

# 出初式



平成30年御船町消防団出初式は1月7日、御船川（お祭り広場）で行われ、町消防団（内村光宏団長・425人）の1年がスタートしました。

式では内村団長が「一昨年は、熊本地震や局地的な集中豪雨などの大災害を経験しました。我々消防団は、災害に対して、いつ、どこで、何が起こるか分からないという状況を覚悟しながら、日々の訓練に精進し、災害のない町づくりに貢献しなければなりません」と話します。その中で、今年抱負が3つあります。1つ目は、被災したものの再建を行政と手を取り合いながら行う。2つ目は、団員の優遇制度の改善。3つ目は、消防署、警察署、消防団とスクラムを組み、有事の際にスムーズな連携がとれるように回線をからコミュニケーションを充実させます」と新年の抱負を話しました。

続く表彰では、県知事や県消防協会長から団員31人へ、町から無火災の分団と班に、賞状が贈られました。式終了後、団員は防火衣を身にまとい、小型ポンプを始動させ「放水始め」の爆竹で一斉に放水。御船城山少年野球クラブも放水体験をし、新春の御船川に31本の水のアーチを描きました。

放水後は、町職員や女性消防隊が炊き出し訓練の一環で、おじやを調理し、団員や式参加者などに振る舞いました。

成30年御船町消防団出初式は1月7日、御船川（お祭り広場）で行われ、町消防団（内村光宏団長・425人）の1年がスタートしました。

式では内村団長が「一昨年は、熊本地震や局地的な集中豪雨などの大災害を経験しました。我々消防団は、災害に対して、いつ、どこで、何が起こるか分からないという状況を覚悟しながら、日々の訓練に精進し、災害のない町づくりに貢献しなければなりません」と話します。その中で、今年抱負が3つあります。1つ目は、被災したものの再建を行政と手を取り合いながら行う。2つ目は、団員の優遇制度の改善。3つ目は、消防署、警察署、消防団とスクラムを組み、有事の際にスムーズな連携がとれるように回線をからコミュニケーションを充実させます」と新年の抱負を話しました。

続く表彰では、県知事や県消防協会長から団員31人へ、町から無火災の分団と班に、賞状が贈られました。式終了後、団員は防火衣を身にまとい、小型ポンプを始動させ「放水始め」の爆竹で一斉に放水。御船城山少年野球クラブも放水体験をし、新春の御船川に31本の水のアーチを描きました。

放水後は、町職員や女性消防隊が炊き出し訓練の一環で、おじやを調理し、団員や式参加者などに振る舞いました。



1\_一斉に放水する31本のアーチ  
2\_表彰を受ける第3分団第3班の水元昭見団員  
3\_分団ごとに観閲する藤木町長と内村団長

4.5\_1点を見つめ、集中する団員たち  
6\_炊き出しでおじやを作り、振る舞う役場の女性消防隊  
7\_御船中吹奏楽部による演奏

## 表彰者（敬称略）

### 熊本県知事定例表彰 勤績章

- 第3分団第3班 水元 昭見
- 第4分団第3班 木村 文明
- 第9分団第3班 志垣 浩信

### 熊本県消防協会長表彰 功績章

- 副団長 宮村 昭彦
- 第1分団分団長 森田 彰
- 第1分団第2班 木村 貴洋
- 第1分団第4班 西田 正広
- 第1分団第5班 高橋 寛敦
- 第2分団副分団長 松永 哲一
- 第4分団第2班 西山 栄二
- 第4分団第3班 藤本 裕也
- 第5分団第2班 田上 仁一郎
- 第6分団第3班 梶原 修
- 第6分団第6班 藤村 孝広
- 第8分団第2班 川崎 泰龍

### 熊本県消防協会長表彰 勤績章

- 副団長 榊 建一
- 第1分団第3班 渡邊 竜一
- 第1分団第3班 横溝 京介
- 第1分団第3班 川上 恵正
- 第1分団第4班 村上 貴志
- 第2分団第1班 渡邊 大三
- 第4分団第2班 緒方 健
- 第4分団第2班 大木 文隆
- 第4分団第3班 松本 新司
- 第5分団第1班 河部 和也
- 第6分団第2班 米田 真伍
- 第7分団第2班 井上 隆嗣
- 第7分団第3班 盛岡 将吾
- 第7分団第3班 佐川 晶典
- 第7分団第4班 坂本 英輔
- 第7分団第4班 林田 正一郎
- 第8分団第1班 藤山 真証
- 第8分団第2班 徳永 伸一郎
- 第9分団第1班 川地 雅敏

### 年間分団内無火災表彰

- 4年間 第3分団
- 3年間 第4分団・第8分団
- 2年間 第2分団
- 1年間 第1分団・第5分団  
第6分団・第9分団

### 永年無火災班表彰

- 10年間 第5分団第1班
- 5年間 第1分団第4班  
第1分団第5班  
第6分団第1班  
第8分団第4班

### 御船町消防団が 防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞



この表彰は平成28年4月に発生した熊本地震に対し、人命救助、住民の安全確保や被害の軽減などに尽力し、防災思想の普及や防災体制の整備に尽くしたことが評価されたものです。内村団長は「これからも一人でも多くの人たちが安心安全な生活が送れますよう、関係機関が一体となって災害に強い町づくりに取り組んでいきます。」と話しました。

### 団員募集

消防団員は、火災、地震、風水害などの災害から、町民の生命、身体、財産を守ります。18歳以上の人で、消防団活動が可能であれば町外からの入団もできます。団員には、報酬支給、公務災害補償、福祉共済などの保障もあります。消防団から入団勧誘がありましたら、快諾をお願いします。女性消防団も同時に募集しています。

